

# 議会だより

# 117号

2017.2



高齢者事業団による農作業のようす

---

第6回臨時会	<b>平成27年度決算を認定</b>	.....2~3P
第4回定例会	中学校のトイレ改修（47,200千円）洋式化に	.....4P
決算審査特別委員会の主な質疑		.....5~8P
一般質問	3名が登壇（第4回定例会）	.....9~11P
総務厚生・産建文教常任委員会所管事務調査報告		.....12~13P
町民インタビュー・親しまれる広報をめざして		.....14P
議員定数等議会改革調査特別委員会報告・要望意見書		.....15P
スポットライト「高齢者事業団」	編集後記	.....16P

---

平成28年  
第6回臨時会  
10月27日~11月2日

# 平成27年度決算認定 剰余金2億1,492万

## 補正予算

- 一般会計に4,364万円を追加しました。  
主な内容は災害復旧の土木施設修繕費に3,606万円、観光施設修繕費に254万円等です。  
**可決**



刈分川災害復旧工事のようす

- 国民健康保険事業に57万円を追加しました。  
主な内容は国民健康保険システム改修費に38万円、職員研修費に9万円等です。  
**可決**

## 人事

- 監査委員の選任  
次の方の選任に同意しました。

又野 博氏 緑町5番8号  
(再選)

## 決算認定

平成27年度各会計決算については特別委員会に付託し慎重に審議しました。主な質疑内容は5～8ページに記載しています。

- 平成27年度一般会計決算認定 **認定**
- 平成27年度国民健康保険事業特別会計決算認定 **認定**
- 平成27年度国民健康保険町立診療所特別会計決算認定 **認定**
- 平成27年度後期高齢者医療特別会計決算認定 **認定**
- 平成27年度介護保険事業特別会計決算認定 **認定**
- 平成27年度簡易水道事業特別会計決算認定 **認定**
- 平成27年度下水道事業特別会計決算認定 **認定**

## 賛成討論



大澤議員

大澤議員

平成27年度は当初予算編成時に相次ぎ多額の予算を必要とする事業が舞い込み不安の残る編成となっていました。経常経費の削減、事業の効率化を図り適正な基金の積み立てを行いました。

また、寄付者に返礼品を送るふるさと納税の開始、地方創生加速化交付金を獲得しての積極的な事業展開等、先を見据えた新たな取り組みが始まった事で近年の厳しい財政事情の中、町独自の財源獲得の可能性が生まれた事は大変評価できるものであり今後の成長が期待されます。しかしこれらの事業が継続して成長していくためには、常に事業を検証、精査し、スピード感を持って取り組まなければなりません。また今後も各建物の老朽化による改修が望まれる箇所もあつたり、国の制度が頻繁に変わる等難しい行政判断を迫られる事が予想されますが、限られた予算で最大の効果が出るよう期待します。



今後も期待されるふるさと寄付金

## 条例制定

### ○農業委員会の委員の定数に関する条例の制定

平成27年9月に農業委員会法等の法律が改正され農業委員の選出方法がこれまでの「公選制」から町議会の同意を必要とする町長の「任命制」へ変更となりますが定員を現行通り12名とする条例を定めるものです。

可決

## 条例改正

### ○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

内容は地方公務員の育児休業、介護休業等の法律改正に伴い条例の一部を改正する。

可決

### ○職員の給与に関する条例及び特別職の給与に関する条例の一部改正

内容は人事院勧告による国家公務員の改正給与法の成立に伴い条例の一部を改正する。

可決

### ○町税条例等の一部改正

平成28年度の税制改正で地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い関連する町税条例の一部を改正する。

可決

### ○農地及び農業用施設小規模災害復旧事業補助条例の一部改正

内容は工事費の上限額を現行の80万円から、100万円に引上げることと条文の表現をわかりやすい文言に改正する。

可決

## 補正予算

### ○一般会計に8,811万円を追加しました。

主な事業内容は中学校1、2階と体育館トイレの洋式化と多目的トイレの設置に4720万円です。工事は平成29年の夏休みに行う予定です。

また、道の駅を核とした国際観光地づくり事業に2,610万円、福祉・食・農業連携の地域ブランドづくりのキヌア生産に関する事業に151万円、7月8月の大雨被害による河川

流出の抜根・廃材など木質系のごみ搬入が大量に増えたため、衛生清掃費に87万、診療所医師交代により検査回数・投薬処方の見直しで診療報酬減少が見込まれるので診療所特別会計繰出金に300万円などです。

マツダ(株)と絵本作家・宮西達也氏から各々、100万円寄付金があり災害復旧費に充当する計画です。

可決

### ○国民健康保険事業特別会計に3,278万円を追加しました。

主な内容は、被保険者療養給付費に1,881万円、被保険者高額療養費に1,292万円などです。

可決

### ○診療所特別会計を55万円減額しました。

可決

## 協定変更

### ○定住自立圏の形成に関する協定の変更

可決

## 専決処分

### ○一般会計に388万円を追加しました。

内容は給食センター煙突改良工事の費用です。

承認



鋼管に改良された煙突

## 発議

### ○閉会中の継続調査の申し出

#### 議会運営委員会

議会の会期日程など議会の運営に関する事項について

#### 総務厚生常任委員会

所管にかかる新年度予算について

#### 産建文教常任委員会

所管にかかる新年度予算について

# 平成27年度 決算審査報告

## 一般会計剰余金

### 1億4,650万円計上

平成27年度 剣淵町一般会計及び各特別会計決算審査調書

各会計別	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引残高
		執行率	執行率	
一般会計	4,124,927,922	4,090,682,241 99.17%	3,944,176,646 95.62%	146,505,595
特別会計	国民健康保険事業	636,559,000 103.50%	658,821,188 97.68%	37,036,659
	国民健康保険 剣淵町立診療所	101,128,000 105.28%	106,462,596 93.43%	11,981,089
	後期高齢者医療	54,982,000 96.82%	53,234,336 93.11%	2,038,111
	介護保健事業	443,911,000 100.02%	444,019,804 96.94%	13,699,914
	簡易水道事業	167,593,000 100.54%	168,493,249 99.31%	2,060,754
	下水道事業	176,942,000 100.39%	177,632,252 99.49%	1,600,732
合計	5,706,042,922	5,699,345,666 99.88%	5,484,422,812 96.12%	214,922,854



平成27年度決算審査特別委員会  
委員長報告  
委員長 卯城規伊

平成27年度決算審査特別委員会は、剣淵町一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算について慎重に審議した結果、決算審査特別委員会委員全員の賛成をもって認定すべきものと決定いたしました。

平成27年度については、歳入総額で前年度比4.65%増の56億9,934万5,666円、歳出総額4.37%増の54億8,422万2,812円で歳入歳出差引引き2億1,492万2,854円の剰余を計上しました。このことは健全財政を維持する上で大変意義があり評価するものであります。今後についても財政の健全化を基本として、諸事業の見直しと経常経費の抑制に努め、適正な行政運営を望むところです。

平成27年度は、前年度に引き続き既設公営住宅の個別改善工事など各施設の修繕・改修事業を重点に実施したところです。重点施策である担い手育成支援対策では農業者10名、商工業者4名に新規就業奨励金を贈呈し、企業化支援では2件、新商品開発・販路開拓支援では4件の申し込みがあり今後の活躍と事業展開に期待するものです。子ども

委員長 卯城規伊

・子育て支援対策では利用者の意向や要望に沿う形で運営され、保育所の開設時間の延長も計られました。高齢者福祉では特別養護老人ホームの入所要件が原則、要介護3以上とされたことから施設入所の受け皿となるグループホームの利用低所得者に負担軽減の助成を行いました。商工業振興では国の交付金などを活用してプレミアム商品券を5,500セット発行し、町内での購買の促進拡大と町民の生活支援策として非常に大きな地域経済効果を得ることができました。株式会社レークサイド桜岡については厳しい経営内容から累積赤字の軽減のため、運営安定化助成金として1,500万円を支援し、より一層の経営努力と社員の意識改革を計り、赤字脱却に向け経営陣の強力なリーダーシップに期待するものです。終わりに本委員会で指摘された多くの意見を平成29年度予算編成に反映させると共に、効率的な行政運営、適正な財政運営により、町民が安心して暮らせる活力のある町となるよう一層の努力を期待して委員長報告とします。

決算審査特別委員会のなかで出された主な質疑の概要を掲載します

### 一般会計歳入質疑

高橋(一)委員

軽自動車税の納入期限を過ぎた人に督促状を出す前に電話連絡をする必要があるのではないか。

田中住民課長

納入期限の翌日から20日以内に督促状を出している。それ以降は電話相談・訪問をしている。

武山委員

地方特例交付金は予算10万円に対し決算で75万円程入っているがどのような性質の交付金か。

上林総務課長

所得税等の住宅取得特例控除の拡大により地方税が減収となる部分を補填するものです。

大澤委員

町営住宅の引越しによる美装業務は一般的には入居者の責任として敷金から引かれるが今後も全て町が負担するのか。

館野建設課長

公営住宅は本来低所得者のため



町営住宅

きたが町民以外の方が利用できないからでは。また町外の人に利用してもらえよう改善していく計画はあるのか。

竹内農林課長

町外の方が利用できないから利用者が減少するとはとらえていない。今後町内の利用者が増えるよう周知徹底していく。

大澤委員

ふるさと納税の返礼品の件ではより多くの人に絵本の里づくりの主旨を理解してもらい、継続して応援してもらえよう取組みにしていくためにも事後の報告を何らかの方法でしていくべきでは。

上林総務課長

納税していただいた方の中には町のパンフレットを送ってほしいという声や、農産物があいしかつたのでまたふるさと納税をしますといった声など様々な声があったので報告方法を考えたい。

### 一般会計歳出質疑

生出委員

財産に関する調書について役場庁舎の評価額や耐用年数等も示していくべきでは。

上林総務課長

これまで民間の企業会計的発想はなかったが地方公会計制度で要件等に準じた形で財務諸表を作成するよう準備を進めている。

武山委員

総合庁舎維持管理事業に4,300万円と相当な金額がかかっているが大規模改修も考えなければならぬ時期に来ているのでは。

清水副町長

庁舎は昭和55年に建設してから今日まで経過しているが今のところ大規模改修の計画は持っていない。



役場庁舎

武山委員

給与費6億1,000万円の他パート職員だけで1億2,600万円になっているが人件費が財政を圧迫していないか。

清水副町長

人件費は財政の部分で大きなウエイトを占めているができるだけ節減には努めており現状でも人員不足を何とか臨時職員で補っている状況。

高橋(一)委員

予備費はどのような時に支出するのか。

村椿補佐(総務課)

突発的な災害時や職員の残業が多くなった時等です。

高橋(一)委員

各種手続きに必要な書類等の周知については役場発行の封筒に印刷するなどわかりやすい方法を考えてはどうか。

中上補佐(住民課)

必要な書類、各担当部署を整理した一覧表を作成中で町民にわかりやすいよう工夫したい。

武山委員

町で認定子ども園の計画はあるのか。

田中住民課長

見直し計画の中で二回調査をしながら検討したい。

高橋(一)委員

3月末から4月初の年度替わりの時期の保育所の対応は。

佐藤主幹(住民課)

保育が必要な方については受け入れをしている。



防犯対策が望まれる常設保育所

生出委員

保育所の防犯上際があると感ずるので防犯カメラの設置が必要と思うがどのように考えているのか。

田中住民課長

防犯カメラ、施錠体制、火災報知機等内部で検討したい。

武山委員

0歳児は受け入れる考えがあるか。

佐藤主幹(住民課)

1歳未満の子どもでも受け入れしているが離乳後11ヶ月位からお願している。給食の関係等もあるので施設的に対応できるか検討しなければならぬ。

武山委員

ゴミの処分場は町として今後も埋め立ての考え方なのか。焼却は検討していないのか。

田中住民課長

現時点では長期的にみて埋め立ての方式で考えている。高温の焼却施設には10億の予算がいる。その後のランニングコスト等も今計算中で、どちらにしても埋め立てとの差はかなりのものである。

武山委員

人口が減ってきててもゴミの量は変わらないのか。

菊地係長(住民課)

一般ゴミはほぼ横ばいで、リサイクルゴミは緩やかな減少という傾向。

高橋(一)委員

ガスコンロの空き缶は道内でも缶に穴を開けずゴミに出すことができる自治体が増えているが、剣淵はどうか。

田中住民課長

現在消防と話をしている状況で開けない方法で出せるよう検討している。



現在穴を開けて処理しているボンベ類

武山委員

社会福祉協議会の運営補助金で、1,000万円とだけ出ているが、どのような形で決算報告を受けているのか。

# 決算審査特別委員会

酒井健康福祉課長

各種事業ごとに事業会計をもっている。それぞれ詳細な報告を受けている。

古山委員

福寿寮で空室があるのだが男性も入居してもらえよう取り組んでいかなければと考えるがどうか。酒井健康福祉課長

広報けんぶちでも募集している。また担当者が単身の高齢者の世帯に伺うときは話もしている。今後も入居定員が埋まるよう努力していきたい。

高橋(一)委員

不妊治療費の助成金は20万円を見ていたが不妊治療は継続して治療しなければいけない場合もある。で次年度に向けて予算の枠組みを増やし、少子化対策に取り組んでいくべきではないか。

酒井健康福祉課長

近隣町村の動きをみながら次年度予算作成に向けて検討したい。

武山委員

町のがん検診等の受診率が低いように感じる。またホームページの内容も更新されていなかったが周知の方法を研究し徹底すべきでは。

松村主幹(健康福祉課)

周知はしているが若干ずつ下がっているのが現状で、各職場で受けているもの等把握しきれないものもある。

高橋(一)委員

農地法改正後農地として判断が難しい場所等農業委員会ではどのように判断し取り組んでいるか。足立農業委員会事務局長

大きくは改正前と変わっていない。年に一度農地パトロールを行っている。

武山委員

27年度予算委員会時に問題となつた玄米バラ施設補助金の関係はJAとの話し合いが不十分だったことが大きな原因と考える。今後は大きな予算を要する案件は十分な協議を重ねて必要性を協議してほしいと考えるが。

竹内農林課長

玄米バラの時には一部説明不足な点があったときいている。今後事前に充分な説明ができるようつとめていきたい。

生出委員

色彩選別機を導入した効果はどのようにしているか。また今後のJAの施設に対しての補助金の

あり方だが同じようなことがあればまた補助をするのかJAの経営努力を求めるのか考えを伺いたい。中上補佐(農林課)

導入効果の詳細はまだ聞いていない。JAの全施設が同じ形になるというわけではなく個々の経過等で変わると思うのでこれが全て前例になるわけではない。



色彩選別機

大澤委員

じゃがいもプロジェクトの事業内容は行政報告書に載っているがその検証を厳正に行い、その経済効果等把握できているのか。

上野参事(健康福祉課)

PRとして一定の成果があった

と感じている。各商談等は最終的に取引に繋がっていないが評価はしていただいている。今後各部門を整備して一層販売力、ブランド力を高めていきたい。



第3回「じゃがじゃがデー」

開催期間:平成27年9月21日  
場所:道の駅「絵本の里けんぶち」

高橋(一)委員

鳥獣被害でアライグマの被害が増えているが今後どのような対応をとるのか。

竹内農林課長

出沒時期がある程度限られているので箱罾等で適切に対応できるよつ現在内部で検討中である。

畠山委員

小中高連携教育推進協議会設置の目的は、和寒町との教育にかかると協定書締結の実績と効果は。

半田教育長

推進協議会の大きな目的は、各学校の全教職員が構成員となること。又、小学校中学校高校が連携することであるさと教育やキャリア教育をさらに進める事ができる。

鹿野教育課長

剣淵や和寒の各小中学校が独自に実施していた教員研修会に互いに案内を出し、交流することで教員が自己研鑽、資質を高めている。社会教育では、文化祭で相互交流を実施している。

武山委員

中学校バリアフリー改修工事設計委託料で700万円程かかっているが計画はどのように進んでいるのか。

山下補佐(教育課)

中学校バリアフリー化の内容は、1・2・3階と体育館トイレの洋式化と特別教室などの段差解消とエレベーター設置であった。

半田教育長

剣淵中学校のエレベーター設置は取り下げた。まずは、生徒の要望が強い3階トイレの洋式化を実施した。次年度以降に1・2階トイレの洋式化の予定である。

高橋(一)委員

26年度は絵本原画108作品の貸し出しがあったが今回は0件である。その理由は、原画収蔵館周辺の環境整備について町の構想を聞きたい。

鹿野教育課長

26年度は札幌市の福祉支援センターや子育て支援センターのイベントに貸し出したが今回はイベントがなかった。

清水副町長

原画収蔵館周辺は現在のところ、特別建物を建てるなどの構想はない。旧絵本の館跡地の現状として、冬場の雪集積地や農協の会議などの時の駐車場として利用されている。



絵本の収蔵館前広場の活用は

武山委員

平波大学生徒募集に対しどのような対策や工夫をしているのか。

鹿野教育課長

平波大学運営委員会では知恵を絞っているが、入学者が少ないのが現状である。在学生から声をかけてもらったり、現在は8年間在学が可能だが、体力を心配する声もある。短くする事も検討部分である。入学生が増える努力をしていきたい。



中学校3階トイレの洋式化とバリアフリー化された男子便所

\*決算委員会は例年同様議長と議会議長の監査委員(高橋毅議員)は出席していません。

**答** 早ければ2018年に着工できる

**問** 道の駅周辺でのPA整備と  
地方創生は



早坂純夫 町長



高橋 毅 議員

国交省は高速道路のサービスエリア、パーキングエリア(PA)を活用した観光振興や地域活性化を促進するため全国自治体に提案募集したところ、剣淵町の事業が採択されました。道の駅には当初から高速道路のPAとしての構想があり用地も確保している。PAの整備により道の駅のハイウェイオアシス化・将来的にはスマートICを整備し地域観光活性化の核として、地方創生にもつながると思いつた。次の質問をします。

**モデル事業の進捗状況と  
完成目標年度は**

早坂町長

道の駅周辺のモデル事業は平成27年10月に応募提案をし28年6月に国交省より道内では深川音江PAと剣淵が採択され、町では北海道開発局と東日本高速道路KK(ネクスコ東日本)と協議を数回重ねPAと高速道をつなげるランプウェイと連絡路の線形などの技術的見地からの検討を重ね早ければ平成30年工事着工できればと思う。

高橋議員

スマートインター設置の条件整

備の問題点はどうか。

早坂町長

スマートインターは設置条件、費用対効果のことも考えPAの整備を先行させていく。

高橋議員

剣淵観光への人の流れとレークサイドを含む地域経済活性化は。

早坂町長

現在展開中である地方創生関連事業を着実に推進することにより剣淵全体の観光振興や地域経済活性化が図られた段階でスマートICを実現し人の流れを多くしたいと思う。

高橋議員

事業費と地元負担分と過疎債などの適用はどうか。

早坂町長

現段階では開発局・ネクスコ東日本と実施内容の協議中なので明確な回答ができる状況ではないが町としては極力、国交省の社会資本整備総合交付金などを活用し、併せて有利な地方債の活用を研究したい。

高橋議員

モデル事業をどう地方創生(絵

本の里・まち・ひと・しごと地域戦略につなげていくのか。

早坂町長

モデル事業を確実に進めることにより町内やこの地域に様々な経済効果が出てくると思う。道の駅が賑わうことにより運営するレークサイド桜岡に新たな取引や雇用が生まれ二次的な経済効果が町内や地域に広がり「ひと・もの・かね」の流れが地方創生につながっていくと思う。



道の駅のPAイメージ図

**答** 今後の研究材料にしたい

**問** 宅地の災害復旧事業補助の制度を



早坂純夫 町長



高橋一博 議員

今後、本年以上の災害も予想されることから宅地の被害に対し災害復旧事業補助の制度が必要と思うがどうか。

早坂町長

宅地の被害に対し補助制度がある自治体は道内にはない。私有財産の復旧は個人負担が原則と考えている。



宅地に隣接しているハウス被害の状況

高橋議員

宅地の被害に対しては保険等での救済措置が該当しないので住民が安全安心に暮らすために万一の支援措置が重要ではないか。

早坂町長

災害の状況により判断していきたいが今後の研究対象としたい。

**大雨による農作物の被害や農地交付金の減額変更に伴う減収に対する農家支援について**

高橋議員

9月定例会において大雨農業被害支援策の質問に対し支援措置を検討する旨の答弁があったが、取り組み状況及び今後の施策と併せて交付金減額による減収対策を伺いたい。

早坂町長

産業経営者育成資金償還猶予が6件8事業、上限額を80万円から100万円に引き上げる「農地・農業用施設小規模災害復旧事業補助条例の改正」、固定資産税の減免、JAの融資に伴なう利子補給に対する町の応分の支援等を実施又は検討している。交付金の減額についての支援は国策の結果であり減収分を町で補填する性質でないと考えている。農家が農作物安定生産の湿害対策として「農地排水機能向上対策事業補助」を実施している。

高橋議員

被害が大きい金時、馬鈴薯の支

援についてはどうか。

早坂町長

皆無ではないので今後調査し所管課と協議し判断したい。

高橋議員

現在実施している農地排水機能向上対策事業補助は1m当り補助が中山間25円、JA50円、町75円であり個人暗きよの需要が多い現状を考えると個人負担を軽くする事も農家支援につながるのではないかと。次年度に向けて補助金額を検討する必要があると思うがどうか。

早坂町長

資材の高騰もあり次年度に向けて改定する必要があると思うので所管課とも協議していきたい。又先程の交付金の減額に関しては私も非常に憤りを覚えており農水省に出向いた機会に政策担当者につきり話をしてみたい。



冬 暗きよの作業風景

**答** 何らかの特典を微々たる  
かたちで考えてみたい



早坂純夫 町長

指摘のとおり、交通安全意識の浸透や自動車の安全性の向上などにより、交通事故死者数は年々減少傾向にある一方で、65歳以上の高齢者が占める割合が高くなつてきている。近年、相次いだ事故を受けて国は、加齢に伴う身体能力の低下により、運転に不安を感じてきた高齢者に対し、運転免許証を返納するよう推奨している。平成10年4月、道路交通法の一部を改正し自主的に運転免許証を返納したいという方のために制度化され、運転経歴証明書を申請することができ、身分証明書として利用できる。

しかし、車が生活必需品であり、

**問** 高齢者運転免許証の返納者に  
優遇措置を



古山久雄 議員

全国的に高齢者ドライバーによる事故が多発している。日常生活の上で車がないと生活はできない状況であるが、自主返納を促すことと本町から事故を起こさせない運動を展開してみても。また、自主返納者に対して、代替の移動手段を使いやすくし、町営バス、乗合タクシーじんじん号などの利用補助、普通タクシー乗車においても何らかの優遇措置を考えられないか伺う。

早坂町長

古山議員

免許返納にはためらう人が多い。従来から高齢者等の交通支援施策として、70歳以上の町営バス無料化、道北バス運賃の助成、福祉タクシー、外出支援サービス事業、さらに乗合タクシーじんじん号を1日6便、大人200円、町内12カ所の連絡施設まで運行しており、さらなる利用促進を図っていききたい。返納は自主的なこともあり、普通タクシー利用に対する支援は研究課題ということで考えている。

免許返納後、申請をすれば運転経歴証明書が土別警察署、運転免許試験場において、手数料千円、写真一枚で交付され、身分証明書にもなる。返納は本人の自覚の問題であり、周りから見ても危ないと思っても言えないが、子どもや孫たちに言われると返納する可能性が高いと思う。このことから行政も、運転経歴証明書に必要な手数料や乗合タクシーなどを補助し、返納者に記念品を贈るといったことなどは考えられないか。

都道府県別の  
運転免許返納率

上位	1	大阪	5.41%
	2	東京	5.03%
	3	静岡	3.77%
	4	香川	3.64%
	5	山口	3.52%
∴	∴	∴	
	40	北海道	1.79%
	∴	∴	
下位	43	徳島	1.74%
	44	宮城	1.66%
	45	茨城	1.65%
	46	岐阜	1.46%
	47	三重	1.22%

※2015年、警察庁まとめ

早坂町長  
自主返納者に町として記念品を贈ることは難しい判断をしなければならぬ。しかし、何らかの特典を微々たるかたちで考えてみたい。



乗り合いタクシーじんじん号

総務厚生常任委員会  
所管事務調査報告書

●ごみ処理場の現状と課題

1. 調査日 平成28年8月26日
2. 調査事項  
ごみ処理場の現状、リサイクル分別と旧焼却炉の解体は。
3. 調査の概要  
当町の一般廃棄物最終処分場は平成11年に完成し当初は平成25年まで埋立て可能という計画であった。住民にとってごみ処理は身近な問題であることから、処分場や廃止中の焼却炉、ゴミ分別の現状と課題を調査
4. 調査の所見

本町のごみ処理については分別収集を実施し、一般廃棄物最終処分場で埋立て処理をしており現在の処分場は平成34年1月頃まで使用可能と見込んでいる。しかし埋立て量が減少すれば3年程度の延命は可能なことから、ごみの分別・リサイクル分類については、今後さらなる徹底が

望まれる。また当町は人口減少傾向にあるがごみの量はそれに比例して減少していないため、次の第2埋立て方式のコスト等を対比し将来を見据えた安定的な処理を検討していくべきである。また、以前使用していた焼却炉についてはダイオキシンの飛散など環境への影響も懸念されることから早期の解体を望むところである。



解体が望まれる旧焼却炉



最終処分場事務所



埋立て可能年数測量



埋立て覆土作業

## 産建文教常任委員会 所管事務調査報告書

1. 調査日 平成28年11月14日  
2. 調査事項

7月31日から3回にわたる大雨災害の復旧状況について資料報告と現地調査を実施

3. 調査の所見

本年7月31日以後の大雨災害による復旧必要箇所は183箇所に上り、災害後より緊急性を要する所より順次復旧を実施し、定期的に本格的な収穫期を控え、農村部においても、町道や側溝の埋没、法面の崩壊等の復旧に全力で取り組んできた経過にあります。

11月14日現在で80%を超える復旧状況であり、地元関係者の協力や地元建設会社、所管課の対応に敬意を表する所である。しかし、未復旧の箇所がまだ20%近くあることから、今後の降雪等を考慮し、これからの復旧に向けて、特に地元住民との連絡を密にして進めてもらいたい。近年想像を超える災害が各地で多発しており、本町においても今年の災害を教訓に今回特に被害の甚大な箇所を重点に万全に備えて日頃の見回り点検を強く望みます。



町道1線（南桜町、西岡町境界付近）完成



着工前



町道西4号（南桜町、下水道汚泥堆肥場道路）完成



着工前



西岡配水池法面滑落補修 完成



着工前

# 親しまれる広報をめざして

## 町民インタビュー

### インタビュー 項目

- ① 興味を感じる記事は
- ② 紙面の良い点・改善点
- ③ 町や議会に対するご意見

## みんなの声まちづくり

### 道の駅のパーキングエリア化 で町がさらに活気づけば

屯田町 澤山 静子 さん



- ① 個人的に道の駅の直売所に農産物を出しているのので道の駅のパーキングエリア、スマートインター化に関する記事に注目しています。毎日出荷するのは大変ですが今後さらに活気づくことが楽しみです。
- ② 字が大きく見やすいです。写真も多く理解しやすいと思います。
- ③ 少ない議員で広報も含めよくやっているとと思います。土日のイベント時に臨時バスなど交通手段の確保をしてほしいです。子どもインタビューをまたやってほしいです。

### 皆でアイデアを出し合って 道の駅を魅力あるものに

仲町 笹田 俊幸 さん



- ① 一般質問や各委員会の質疑応答です。特に道の駅の今後に注視しています。
- ② 文章と写真のバランスもよく読みやすいと思います。逆に各議員さんへのインタビューがあつてどんな町にしたいか等、話を聞ける記事があればいいなと思いました。
- ③ 個人的には道の駅のハイウェイオアシス化は今後の町を代表する施設になると思うので魅力のあるスポットにしてほしいです。

# 議員定数等議会改革調査特別委員会報告

## 次回の選挙も現行定数で実施

議員定数等議会改革調査特別委員会委員長報告を申し上げます。

平成26年12月11日に議長から議会運営委員会に平成25年12月本町議会議員の改選が行われてから、議員定数に1名足りない中で、議会運営や委員会活動等を余儀なく行っている。住民の代表である議会は、町制執行機関に対する監視役として、機能を十分に果たしていかなければならず、そのためには議会の議事運営、各種委員会活動、議員の調査活動はどうあるべきか等を検討願いたいと要請を受けました。

協議の結果、議長を除く8名全員で特別委員会を設置し協議する事となり、平成27年3月の定例町議会において「議員定数等議会改革調査特別委員会」を設置したところです。

以来、議長に答申を行うまでの間、13回の委員会開催、町民の意見を聞く会の開催、先進地への視察研修1回、名寄市や札幌市で行われた議会改革シンポジウムへ参加をして検討を重ねてきたところです。

結果、議員定数については近年当町も人口の減少、高齢化など様々な問題を抱える中で、広く町民の意見を行政に反映させるためにも、次回の選挙も引き続き現在の定数10名を維持したところです。なお、議員の定数については今後も常に状況判断して決定すべきと思います。

委員会活動については従前どおりですが、次回から本人の意向により重複も可としました。

一般質問は、改選期から一問一答方式とするなどが主たる改正であります。

議員報酬については、当町は全国、全道的に見ても最低ランクに近いので、昨今の情勢変化などから行政は定期的に報酬審議会を開催し、議員のなり手を確保するためにも上げる方向で検討審議すべきとしたところです。

最後になりますが、今回の特別委員会では他にも議会全般にわたり幅広く検討協議をしたところですが、多くの改革とはなりませんでしたが、住民の代表機関として、議会運営の充実と効率化を図り、住民福祉向上のため、今後も努力を払い開かれた議会、より良い議会を目指しているところです。以上特別委員会の経過、改革の概要を申し上げ報告といたします。

### 要望意見書

○国による子ども医療費無料制度の創設を求める要望意見書

○国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める要望意見書

○「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める要望意見書

（以上3件の要請団体）

北海道保険医会

○義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた要望意見書

（要請団体）

連合北海道釧路地区連合会

○地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める要望意見書

○JR北海道への経営支援を求める要望意見書

○大雨災害に関する要望意見書

（以上3件の要請団体）

北海道町村議会議長会

### 高齢者の 生きがいを求めて



高齢者事業団による公共施設の除雪作業

剣淵町高齢者事業団は『高齢のため一般雇用になじまない、またはそれを望まないが働く意欲を持っている、健康な高齢者が地域社会の活動を綿密な連携を保ちながら、その経験・能力・希望を活かし、相互の協力のもとに就業機会を確保し、生活の充実・福祉の増進を図るとともに、地域社会づくりに寄与する』事を目的に、設立準備委員会を経て、平成元年4月に剣淵町と社会福祉協議会の補助

金を資本として、43名の会員により発足しました。

当所はなかなか歯車がかみ合わず、町の委託作業を中心に281万円の受託事業収入（配分金+事務費）にとどまりました。その後徐々に浸透し理解度も深まり、会員増と相まって5年目には1000万円を越え、12年目には2000万円を越え、そして14年目には3000万円の大台を突破したのであります。会員数も最多で79名に達した時期もありましたが、近年特に高齢化が進み平成27年度末には55名まで減少してしまいました。

しかしながら近年は委託作業の中で特に農作業の比率が高まり、少数会員ではありますが最大限の能力を発揮し、期待に添えるべく鋭意努力しています。今後においても町をはじめ各関係機関のご指導をいただきながら、会員加入推進とともに需要に対応できる体制を確立し、委託者の方々の期待に十分応えられるよう一層努力してまいります。

剣淵町高齢者事業団事務局

石寺龍一氏寄稿

### 上川管内町村議会議員研修会

管内議員研修会が昨年10月26日美瑛町で開催され時事通信社解説委員長の山田恵資氏による「政治の行方を展望する」と題した講演では12月に山口県での安倍・プーチン会談で歯舞・色丹島返還問題がどれ位進むのか、衆議院の解散・総選挙の時期について・アメリカ大統領選で隠れトランプ現象が選挙の結果を左右するのではとの話がありました。次に道保健福祉部国保医療課長の望月泰彦氏による「国民健康保険制度改革について」と題した講演では、道が主導で道内統一的な国保運営をし負担の割り勘方式を取り入れて平成30年を目途に制度改革を進めると、所得が低く医療費が高い町村は国保税の大幅増もあり得るとの話に出席議員は熱心に耳を傾けました。



管内議員研修

### 編集後記

今年こそ災害の無い豊穡の秋を招かれるよう祈ります。 高橋 毅

多くの人に読んでもらうための紙面の工夫。広報紙作りは奥が深いです。 畠山 弘美

皆んなで助けあってすばらしいふるさとを作っていきたいものです。 武山 啓一

皆で町の問題に対し考えていける広報紙にしたい。 大澤 秀明

これからも議会をたよりご愛読よろしくお願いします。 高橋 一博

広報委員長 高橋 一博  
副委員長 大澤 秀明  
委員 高橋 啓一  
畠山 弘美



広報委員のメンバー